



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月26日

上場会社名 モーニングスター株式会社
コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2021年11月5日

配当支払開始予定日 2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,937	8.9	993	13.9	1,176	10.0	724	3.9
2021年3月期第2四半期	3,615	8.5	872	0.8	1,069	5.6	696	1.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,445百万円 (66.2%) 2021年3月期第2四半期 869百万円 (56.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	8.07	
2021年3月期第2四半期	8.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	14,883	13,042	84.2	139.73
2021年3月期	14,189	12,358	84.6	133.95

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,530百万円 2021年3月期 12,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		7.50		8.50	16.00
2022年3月期		8.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	89,673,600 株	2021年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	170 株	2021年3月期	170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	89,673,430 株	2021年3月期2Q	82,892,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2022年3月期の配当予想)

2022年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年10月26日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
3. その他	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の売上高は、ファイナンシャル・サービス事業のデータ・ソリューションにおいて、金融機関が活用するオンライン上のコンテンツやアプリケーションなどは引き続き旺盛な需要があり、当社の提供するタブレットアプリやスマートフォン向けコンテンツの売上は、継続して拡大しましたが、株式新聞紙面の休刊に伴う売上減少もあり、データ・ソリューションの売上高は、前年同期(2020年4月1日～2020年9月30日)より△16.1%の減収となる791百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業のメディア・ソリューションは、新型コロナウイルス感染症により対面での資産運用などのセミナーが開催できない状況が続き、そのため投資信託の運用会社・販売会社からのプロモーションが抑制され、セミナーと広告の売上が減少しました。また、2021年7月1日にゴメス・コンサルティング事業を会社分割により譲渡したことにより、ゴメス・コンサルティング事業の売上が減少しました。その結果、メディア・ソリューションの売上は、前年同期より△32.0%の減収となる238百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のファイナンシャル・サービス事業の売上高は、前年同期より264百万円(△20.4%)の減収の1,030百万円となりました。

アセットマネジメント事業におきましては、公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に伴う信託報酬が増加したことに加え、地域金融機関の有価証券運用の高度化を支援する私募投資信託の運用残高の大幅な拡大に伴う信託報酬の増加により、売上高は前年同期より586百万円(25.2%)の増収の2,907百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の3,615百万円から321百万円(8.9%)の増収となる3,937百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の1,680百万円から111百万円(6.6%)増加し1,791百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の1,063百万円から89百万円(8.4%)増加し1,152百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の872百万円から121百万円(13.9%)の増益となる993百万円となりました。

営業外損益は、前年同期と比べ、純額で14百万円減少し、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の1,069百万円から106百万円(10.0%)の増益となる1,176百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の696百万円から27百万円(3.9%)の増益となる724百万円となりました。

[業績の概要]

	2021年3月期第2四半期 連結累計期間		2022年3月期第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	3,615,730		3,937,555		321,825	8.9%
営業利益	872,352	24.1%	993,569	25.2%	121,216	13.9%
経常利益	1,069,661	29.6%	1,176,443	29.9%	106,782	10.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	696,751	19.3%	724,028	18.4%	27,276	3.9%

連結売上高は10期連続の増収、5期連続で過去最高の売上を更新しました。

営業利益は2期連続の増益、かつ過去最高益を更新しました。

経常利益は12期連続の増益、10期連続の過去最高益を更新しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は12期連続の増益、7期連続の過去最高益を更新しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	943,172	26.1	791,111	20.1	△16.1
メディア・ソリューション	351,181	9.7	238,961	6.1	△32.0
計	1,294,353	35.8	1,030,072	26.2	△20.4
アセットマネジメント					
アセットマネジメント	2,321,376	64.2	2,907,482	73.8	25.2
計	2,321,376	64.2	2,907,482	73.8	25.2
連結売上高	3,615,730	100.0	3,937,555	100.0	8.9

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が112,630台となり、前年同期末の2020年9月末に比べて、21.2%増加したことにより、タブレットアプリによるファンドデータの売上が増加いたしました。一方、株式データは、株式新聞WEB版の売上は増加したものの、紙媒体を2021年3月31日に休刊したことにより、株式新聞購読料が減少しました。

その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期の943百万円から152百万円(△16.1%)の減収となる791百万円となりました。

・メディア・ソリューション

新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、対面での資産運用セミナーが開催できない状況が続く、投資信託の運用会社・販売会社からのファンドのプロモーションが抑制され、セミナーと広告の売上が減少いたしました。また、2021年7月1日にゴメス・コンサルティング事業を会社分割により譲渡したことにより、ゴメス・コンサルティング事業の売上が減少しました。

その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期の351百万円から112百万円(△32.0%)の減収となる238百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、SBIアセットマネジメントが提供する公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に加え、地域金融機関の有価証券運用を支援するSBIボンド・インベストメント・マネジメントおよびSBI地方創生アセットマネジメントの私募の投資信託の運用残高が増加しました。その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同期の2,321百万円から586百万円(25.2%)の増収となる2,907百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期の1,294百万円から264百万円(△20.4%)の減収となる1,030百万円となりました。

セグメント利益は、前年同期の420百万円から174百万円(△41.4%)の減益となる246百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期の2,321百万円から586百万円(25.2%)の増収となる2,907百万円となりました。

セグメント利益は、前年同期の451百万円から295百万円(65.4%)の増益となる747百万円となりました。

② 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

③ 研究開発活動

該当事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して693百万円増加し、14,883百万円となりました。

これは、流動資産が39百万円減少し、固定資産が736百万円増加したことによるものであります。

流動資産の減少は、主として売掛金が237百万円、その他流動資産が360百万円増加した一方、現金及び預金が636百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として、配当金を762百万円支払ったことによるものであります。

固定資産の増加は、主としてゴメス・コンサルティング事業の会社分割の対価として上場株式を取得したことによるものであります。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して9百万円増加し、1,840百万円となりました。

負債の増加は、主として、流動負債が182百万円減少した一方、固定負債の繰延税金負債が218百万円増加したことによるものであります。

その他有価証券評価差額金がゴメス・コンサルティング事業の会社分割の対価として上場株式を取得したこと等により581百万円増加し、アセットマネジメント子会社の四半期純利益の増加による純資産の増加、非支配株主持分が164百万円増加しました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して683百万円増加し、13,042百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ636百万円減少し、4,268百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ、266百万円減少し、269百万円の収入となりました。

これは、主として、税金等調整前四半期純利益1,172百万円の計上、売上債権の増加245百万円、法人税等の納付375百万円、企業集団内の受取配当金に係る還付予定仮払税金351百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ、635百万円増加し、131百万円の支出となりました。

これは、主として、無形固定資産の取得による支出161百万円、差入保証金の回収30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ、128百万円減少し、792百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額が762百万円となり、リース債務の支払が29百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,904,634	4,267,916
売掛金	1,306,261	1,543,450
棚卸資産	※1 1,252	※1 1,325
その他	201,592	562,049
流動資産合計	6,413,742	6,374,741
固定資産		
有形固定資産	※2 242,025	※2 207,684
無形固定資産		
のれん	1,892,815	1,753,867
ソフトウェア	1,294,494	1,214,074
その他	304,295	331,991
無形固定資産合計	3,491,605	3,299,932
投資その他の資産		
投資有価証券	3,585,678	4,551,671
繰延税金資産	223,214	250,233
その他	209,851	179,464
投資その他の資産合計	4,018,745	4,981,369
固定資産合計	7,752,376	8,488,985
繰延資産		
株式交付費	23,732	19,282
繰延資産合計	23,732	19,282
資産合計	14,189,850	14,883,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,838	52,143
未払金	798,850	704,731
リース債務	128,059	111,939
未払法人税等	457,220	329,295
未払消費税等	93,566	73,296
その他	254,586	341,487
流動負債合計	1,795,121	1,612,893
固定負債		
長期リース債務	35,798	9,633
繰延税金負債	-	218,090
固定負債	35,798	227,724
負債合計	1,830,919	1,840,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,906,035	4,906,035
利益剰余金	4,464,870	4,426,674
自己株式	△29	△29
株主資本合計	12,734,512	12,696,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△627,728	△46,293
為替換算調整勘定	△95,418	△119,610
その他の包括利益累計額合計	△723,146	△165,903
非支配株主持分	347,566	511,979
純資産合計	12,358,931	13,042,391
負債純資産合計	14,189,850	14,883,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,615,730	3,937,555
売上原価	1,680,187	1,791,641
売上総利益	1,935,542	2,145,913
販売費及び一般管理費	※ 1,063,189	※ 1,152,343
営業利益	872,352	993,569
営業外収益		
受取利息	85,685	118,511
受取配当金	80,550	44,366
投資有価証券売却益	25,217	26,918
持分法による投資利益	8,242	-
為替差益	10,647	-
その他	1,177	5,889
営業外収益合計	211,520	195,685
営業外費用		
支払利息	14,210	-
為替差損	-	7,446
株式交付費償却	-	4,449
その他	0	915
営業外費用合計	14,211	12,811
経常利益	1,069,661	1,176,443
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,035
特別損失合計	-	4,035
税金等調整前四半期純利益	1,069,661	1,172,408
法人税、住民税及び事業税	298,154	318,118
法人税等調整額	519	△4,085
法人税等合計	298,674	314,032
四半期純利益	770,987	858,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	74,236	134,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	696,751	724,028

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	770,987	858,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,981	581,435
為替換算調整勘定	△22,711	5,907
繰延ヘッジ損益	△1,524	-
その他の包括利益合計	98,746	587,342
四半期包括利益	869,733	1,445,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,967	1,281,271
非支配株主に係る四半期包括利益	71,766	164,446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,069,661	1,172,408
減価償却費	190,425	218,929
長期前払費用償却額	2,496	2,503
のれん償却額	57,861	53,713
株式交付費償却	-	4,449
受取利息及び受取配当金	△166,235	△162,877
支払利息	14,210	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△25,217	△22,883
為替差損益 (△は益)	△10,162	7,441
持分法による投資損益 (△は益)	△8,242	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△261,380	△245,406
棚卸資産の増減額 (△は増加)	526	△156
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,960	△10,694
未払金の増減額 (△は減少)	△67,716	△92,720
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△131,900	△333,014
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	55,150	27,935
小計	727,438	619,627
利息及び配当金の受取額	35,185	19,297
利息の支払額	△14,750	-
法人税等の支払額	△217,572	△375,368
法人税等の還付額	6,177	5,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	536,479	269,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,452	△7,283
無形固定資産の取得による支出	△270,473	△161,184
投資有価証券の売却による収入	32,225	7,000
投資有価証券の取得による支出	△513,970	-
関係会社株式の売却による収入	-	33
関係会社株式の取得による支出	△32	-
敷金及び保証金の回収による収入	13,804	30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△21,750	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△766,650	△131,435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	-
配当金の支払額	△663,139	△762,224
借入金の返済による支出	△1,000,000	-
リース債務の返済による支出	-	△29,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663,139	△792,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,938	17,231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△896,249	△636,747
現金及び現金同等物の期首残高	4,369,638	4,904,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,473,389	※ 4,268,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

なお、当該会計基準の適用による第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
仕掛品	0千円	0千円
貯蔵品	1,252千円	1,324千円

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
	383,076千円	390,218千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
従業員給与	426,516千円	486,407千円

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金勘定	3,473,063千円	4,267,916千円
証券口座預け金 (その他流動資産)	325	296
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,473,389	4,268,212

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2020年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	663,139	8.00	2020年3月31日	2020年6月1日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生予定日
2020年9月16日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2020年9月30日	2020年11月16日

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	762,224	8.50	2021年3月31日	2021年6月1日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生予定日
2021年9月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	717,387	8.00	2021年9月30日	2021年12月1日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,294,353	2,321,376	3,615,730	-	3,615,730
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,587	36	11,623	△11,623	-
計	1,305,940	2,321,413	3,627,353	△11,623	3,615,730
セグメント利益	420,565	451,787	872,352	-	872,352

当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,030,072	2,907,482	3,937,555	-	3,937,555
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,094	37	12,131	△12,131	-
計	1,042,166	2,907,520	3,949,686	△12,131	3,937,555
セグメント利益	246,280	747,289	993,569	-	993,569

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する項)

(単位: 千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	3,627,353	3,949,686
セグメント間取引消去	△11,623	△12,131
四半期連結損益計算書の売上高	3,615,730	3,937,555

(単位: 千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	872,352	993,569
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	872,352	993,569

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円41銭	8円07銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	696,751	724,028
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	696,751	724,028
普通株式の期中平均株式数(株)	82,892,430	89,673,430
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

2021年9月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………717,387千円

(ロ) 1株当たりの金額……………8円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生予定日及び支払開始予定日……………2021年12月1日

(注) 2021年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。